

プレシヤスキャリアの「これが私の自信服！」

プライベート編の「自信服」ではエレガントななかにも、大人の女性らしい遊び心がかいま見えるコーディネートがそろいました。着やせ顔映えなどの賢い工夫も。

プライベート編

ラフなパーティーでは意外性のあるジャケットで大人の遊び心を演出
大貫伊都子さん



フジテレビ 情報制作センター部長職。現在は情報番組『知りたがり』のアカウントプロデューサーを担当。



ラフなパーティーやレセプションなどに着ていく服に大貫さんが選んだのは、グッチのジャケットとミニスカート。「もともとジャケット好きですが、これは背中が大きく開いた、かなりインパクトのあるデザイン。前から見るとカチツとしているのに、後ろを見ると、えっ、みたいなギャップが楽しいですよ」。イタリア製の赤のパテントブーツを合わせて、さらに遊び心をプラス。黒のタイツでスカートの短さをカムフラージュします。

パートナーとの食事では立っても座っても華やかなワンピースをチョイス
関戸智美さん



ファッションブランドのPR、マーケティング、プロデュースを手がける「edit & co.」代表。



コーディネートのポイントは「食事の席なので、立ってもきれいで、座っていても華やかであること」。黒&ゴールドのワンピースはそでがフレアになっていて、アクセサリーをつけなくても十分存在感のあるデザイン。バッグはヴィンテージの1点もので、ファアのストールはお母様のおさがりをアレンジして仕立て直したものの。「エッジの効いたミニのドレスには少しくラシックなニュアンスを足して全体をシックにまとめます」

立食パーティーのときは体のラインが美しく見える華やかなワンピースを
梶川貴子さん



スパサロンやホテル内のスパ施設の企画運営・教育・コンサルティングを手がける「ウェルネス・アリーナ」主宰。



パーティーのとき、多くの人は無難な黒を選んでしまいがち。梶川さんはあえて、パールのワンピースをチョイス。「鮮やかな色の服だとその場が華やかになるし、はめられることが多いんです(笑)」。ポイントは、着たときにすっきり、かつメリハリのあるボディラインに見せてくれること。肩のライン、背中のラインがもたついていると老けて見えるので、ふだんから鍛えて美しく保つ...という努力も怠りません。

子供を交えた食事会ではきちんとしたなかにも優しさをプラス
片桐衣理さん



内科・美容皮膚科医。衣理クリニック表参道院長。著書に「片桐衣理のピリオディックスキンケア」(しょういん)。



驚くべき美肌の持ち主でもある片桐さん。最近はお子供を交えた家族ぐるみのおつきあいが増えたそうですが、そんなときはきちんとした服装を選びつつも、温かみのある優しい印象を与えられるように意識。「美のポイントは肌。特に女性の最大のアクセサリともいえるデコルテが映える上品なコーディネートを中心に考えています」。ネックレスやブレスレット、指輪などのアクセサリは、いっさいつけないという潔いこだわりに脱帽！

母親の演奏会に出席。きちんと感のあるエレガントスタイルで
妹尾めぐみさん



フリーランスのPR、ブランディングアドバイザー。現在は「amada」「Bijou de M」などを担当。



アマチュアオーケストラに入っているお母様の演奏会や昔の上司との食事会などでは、フォーマルすぎず、ある程度きちんと感やエレガントな雰囲気のある服装を。「重要なのは女性らしいラインが出ること。少しタイトなくらいがちょうどいいと思います」。ウエスト切り替えの「YOKOCHAN」のワンピースは大人の女性が着てもかわいらしく、光沢感のある「ASPESSE」のジャケットを合わせればより華やかに。